

令和6年6月28日
帯広開発建設部**【道東初】掘削機械（バックホウ）簡易遠隔操縦装置の訓練を実施します**

～災害に備え、災害対策用機械の取付け・操縦方法の習熟を図る～

帯広開発建設部では、土砂災害など危険な場所での復旧活動を安全に行えるよう、汎用バックホウを遠隔操作可能とする簡易遠隔操縦装置を配備しており、本格的な大雨・台風シーズン到来を前に、取付け・操縦方法の習熟を図るため、下記のとおり訓練を実施します。

記

- 1 開催日時 令和6年7月3日（水） 9時30分～12時00分
- 2 開催場所 札内防災基地（中川郡幕別町札内西町73の6）
※帯広河川事務所／帯広道路事務所構内
- 3 訓練内容 ① 9:30～10:30 掘削機械（バックホウ）への取付け訓練
② 10:30～12:00 掘削機械（バックホウ）の操縦体験
- 4 参加予定者 一般社団法人 帯広建設業協会及び災害協定会社
- 5 取材関連 取材を希望される方は、「取材申込書」により7月2日（火）12時までにお申し込み願います。
- 6 その他 悪天候の場合、訓練を中止することがあります。
一般の方の見学についてはご遠慮いただいております。あらかじめご了承ください。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

防災課 課長 菅原 成行 （電話番号 0155-24-3194 内線447）

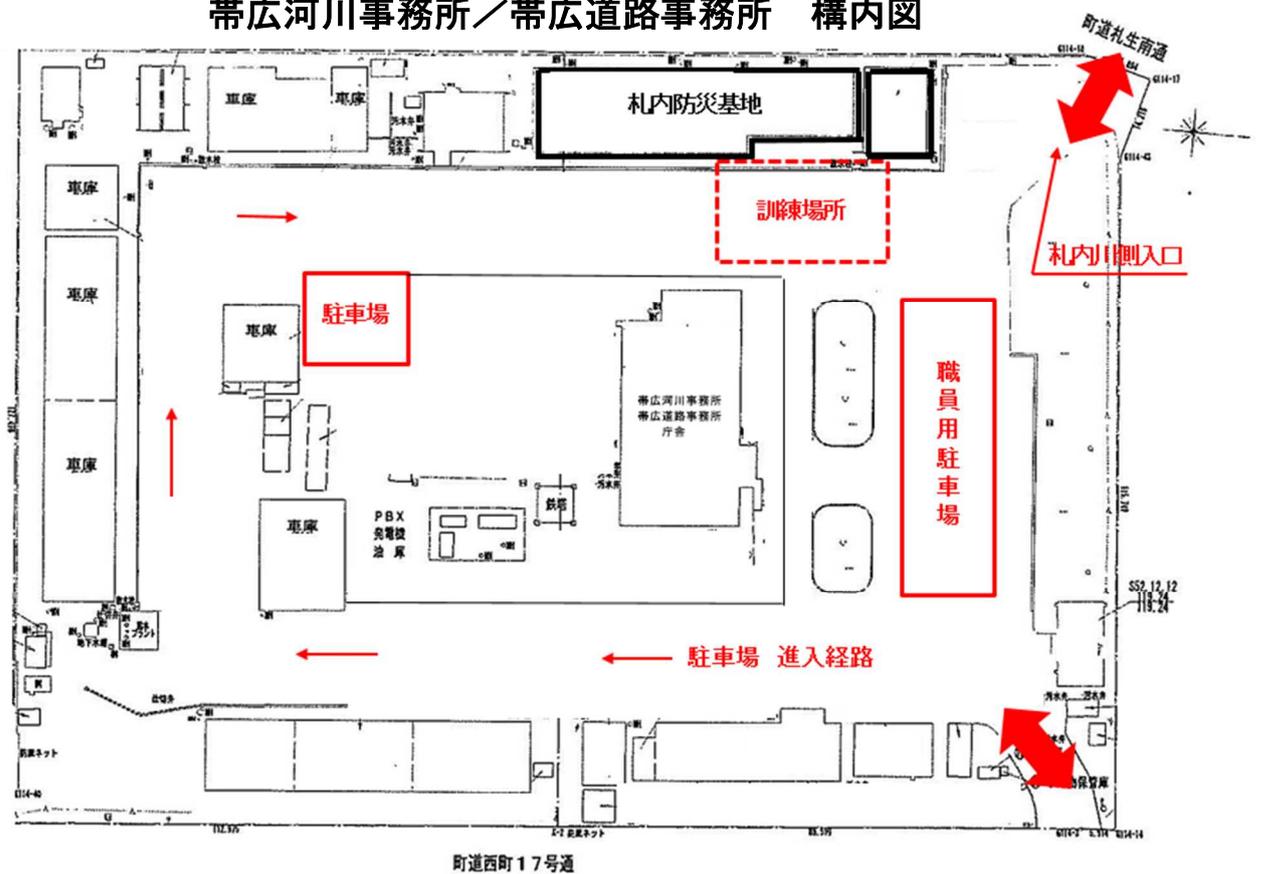
防災課 課長補佐 津田 和典 （電話番号 0155-24-3194 内線448）

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>

帯広河川事務所／帯広道路事務所 位置図



帯広河川事務所／帯広道路事務所 構内図





汎用バックホウ



簡易遠隔操縦装置

簡易遠隔操縦装置とは、汎用バックホウの運転席に取付可能な**遠隔操縦ロボット**です。ロボットを遠隔操縦することでバックホウによる無人化施工を行うことが可能。

本装置は、土石流災害や天然ダムが形成された現場など、二次災害の恐れがあり、有人での作業では危険な現場において活躍が期待されます。

簡易遠隔操縦装置の特徴



約70のパーツは専用箱6個に収納



1BOX車で輸送可能



取付状況



専用コントローラー

【保管・輸送】

- ・簡易遠隔操縦装置は約70個のパーツで構成され、6個の専用の箱に収納。
- ・コンパクトに収められているため、1BOX車で輸送が可能。

【取付】

- ・0.28m³以上のバックホウに取付可能。
- ただし、各メーカーや機種に対応する専用ケーブルが必要となるほか、機種の種類や年式により、取り付けできない機種も存在。
- ・取付は2人で約1時間程度

【操作】

- ・専用コントローラを使用した無線による遠隔制御。
- ・遠隔操作距離は約150m程度（見通しが良い平坦な場所で、外来電磁波等の影響がある場合を除く）。

国道276号千歳市美笛 応急復旧(令和4年度)



出典:北海道開発局 札幌開発建設部 報道発表資料(令和4年7月14日)

【別紙3】

取材申込書（簡易遠隔操縦装置取付け・操縦訓練）

FAX送信先：0155-24-4176

帯広開発建設部 防災課長 菅原 宛

報道機関名	
参加者氏名	
問合せ電話番号	
連絡事項	

※連絡事項欄には伝達事項等がありましたら、ご記載ください。

※一般の方の見学についてはご遠慮いただいております。あらかじめご了承ください